



令和7年度 良好な環境を活用した観光モデル事業

北海道南十勝の自然共生サイト・OECMと国立公園を対比しながら 日本的自然観を観て感じ取れるエコツアーの多言語対応化

一般財団法人史春森林財団

事業概要

史春森林財団の経営する森林が自然共生サイトに認定され、OECM登録もされたことを機に、また、日本最大の国立公園となった日高山脈に隣り合う立地も生かしながら、日本的自然観を観て・感じとれるエコツアーを目指しています。そして、国内外からの小グループ向けツアーを案内できる体制構築に取り組んでいます。



今年度取り組み内容

森林経営と生物多様性の関係について、現場において案内説明するための“口上”の多言語化、紙芝居・看板化を進めるとともに、360°カメラによるVR映像やドローン空撮映像をネット発信することで、エコツアーの企画や地域の魅力を伝える素材を整備。林業以外の農畜産・漁業・木工等連携先カタログ化とSATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ(IPSИ)等の専門家向けプロモーション。



今年度成果



案内文8か国語に翻訳、イラストや写真とQR看板化、スマホ翻訳AIの活用で森林作業者の日常を英語化、360°カメラ及びドローン映像を地図情報にリンクさせ、来訪前の情報把握、別の季節の様子を発信、子ども向けイベントと連動、地域おこし協力隊・写真家・イラストレーター・自然観察ガイド・放課後ボランティア等との関係カタログ化、えりも岬とんがりロード推進協議会との連携、SATOYAMAイニシアティブ(IPSИ)を通じて国際専門家関係を構築。



次年度以降の目指す方向性

地元のガイドや事務局体制を整えつつ、とんがりロードとの連携で東南アジアの中小旅行社を対象としたモニターツアーを計画、これを端緒に、IPSИを通じた森林生態系専門家等の研究旅行や企業経営者層の自然共生経営学習旅行の企画を欧米向けにも発展させたいと考えています。

問い合わせ先

一般財団法人史春森林財団 担当:菅野 知之
電話:090-9027-3751 メール:sugano@fumiharu.org